

アザテ君

東海林さだお

(13584)



28日午前9時10分ごろ、金沢市御所町2の山道で、犬の散歩をしていた近くに住む田中孝季さん(63)と妻富美子さん(59)が親子連れの熊に遭遇、孝季さんが親熊に襲われた。夫妻が連れ戻された飼犬が親熊の方へ走って立ち向かうと、熊たちは逃げた。孝季さんは頭と尻をかまれてけがをしたが、命に別害はなかった。富美子さんは無事で「シヨコは普段はおとなしく番犬にならないけど、今日はよく頑張ってくれた」と話した。

忠犬 熊から飼い主夫婦守る

金沢・見事撃退

の計3頭。孝季さんは、木に登っている子熊を発見した直後に、背後から親熊に襲われたという。2人は近くの民家に駆け込んで助けを求め、住民が119番



熊を追い払い、飼い主を助けた柴犬のシヨコら
|| 金沢市で28日



9年に北大西洋条約機構(NATO)軍は米国の主導によってコンボを空爆したが、狙いは米軍基地の確保で、正当性はなかった。集団的自衛権の行使を認めれば、いや応なく米国の大義なき戦争に巻き

ジャーナリスト 木村元

「世間が全て敵に」

松本サリン20年 河野さん経験語る

高知



は、日本人のジャーナリスト ずっとして、集団的自衛権を認めても、武力を使う範

長野県松本市で1994年6月27日に発生した松本サリン事件から20年となったのを受け、当初容疑者のように扱われた河野義行さん(64)が28日、高知市で講演した。妻澄子さん(2008年に60歳で死去)が口から泡を吹いて倒れ、自身も救急車で搬送された当日の様子や、退院後は警察の事情聴取で自白を強要され、病院や自宅にマスコミに押しつけられた経験語り、市民ら約150人が耳を傾けた。

検察側	弁護側
の加害者として、爆弾の製造と使用を手助けしたとされる。被告は「薬品を運んだが、爆弾の原料とは知らなかった」と主張した。	製造に付き合っただけで、爆弾の製造には関係ないと主張した。

「幹部ら及ぶこと、被告の程度について、対立した。

オウム真理教による直子被告(4)に対する東京地裁判決が30日、東京地裁(1995年5月)で爆発物取締罰則違反と殺人未遂のほう助罪に薬品を被告が爆弾の原料だと認識していたか

「幹部ら及ぶこと、被告の程度について、対立した。

対立した。

ても一軍隊が押し任せ成功する確率は低く、交渉での解決が鉄則。アフガニスタンでは95%以上は交渉で解決している」という。

